

やなせたかしの世界展

みんなだいすきアンパンマン

1 展覧会名

・メインタイトル

やなせたかしの世界展

・サブタイトル（メインタイトルより文字小さめに）

みんなだいすきアンパンマン

2 主催等

主 催 茨城県近代美術館

協 力 (株) やなせスタジオ, (公財) やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団,
(株) フレーベル館

後 援 水戸市, 朝日新聞水戸総局, 茨城新聞社, 株式会社茨城放送, N H K 水戸放送局,
産経新聞社水戸支局, 東京新聞水戸支局, 日本経済新聞水戸支局, 毎日新聞水戸支局,
読売新聞水戸支局

企画協力 (株) 七彩社

3 会期

平成 27 年 7 月 11 日(土)～8 月 30 日(日) 44 日間

休 館 日：毎週月曜日 ※ただし 7 月 20 日(月)は開館, 7 月 21 日(火)は休館

開館時間：午前 9 時 30 分～午後 5 時(入場は午後 4 時 30 分まで)

4 観覧料

一般 980(850)円, 高大生 720(600)円, 小中生 360(240)円

※()内は 20 名以上の団体料金

※夏休み期間を除く土曜日は高校生以下入場無料

※満 70 歳以上の方, 障害者手帳等をご持参の方は無料

5 展覧会概要

アンパンマンの作者やなせたかし(1919-2013) といえば, 絵本やアニメの作品が有名ですが, その活動は決して“子ども向け”に留まるものではありません。創作した絵本の多くがいわゆるハッピーエンドに終わらないように, 作品にはやなせの想いが託されているのです。その中心にあったものは, 生命の大切さを伝えること, 戦争などの争いごとが無い平和な世界であるために“本当の正義”とは何かを問い続けることでした。「アンパンマン」が空腹の人に自らの顔を差し出すように, 作品には, 献身の心や自己犠牲なくして正義はなしえないという信念が貫かれているのです。

本展では, 絵本や漫画, 詩の創作, 雑誌の編集など多彩に活躍したやなせたかしの知られざる全貌をご紹介します。

[やなせたかし略歴]

- 1919（大正8）年 東京都に生まれる
1937（昭和12）年 東京高等工芸学校図案科（現・千葉大学工学部）入学
1941（昭和16）年 応召、のち中国大陸に出兵して終戦を迎え45年に高知県香美市へ帰郷
1947（昭和22）年 上京
1948（昭和23）年 「独立漫画派」に参加
1953（昭和28）年 フリーの漫画家となり、翌年「漫画集団」に参加
1961（昭和36）年 「てのひらを太陽に」作詞
1965（昭和40）年 最初の創作絵本『飛ぶワニ』出版
1969（昭和44）年 アニメ映画『千夜一夜物語』（手塚治虫監督）の美術監督を担当
大人向けメルヘンとして「アンパンマン」を雑誌に掲載（75年市販絵本として刊行, 88年テレビ放送開始）
1970（昭和45）年 アニメ映画『やさしいライオン』制作
1973（昭和48）年 雑誌『詩とメルヘン』創刊
1996（平成8）年 やなせたかし記念館アンパンマンミュージアム開館（高知県香美市）
2000（平成12）年 日本漫画家協会理事長就任
2013（平成25）年 死去

【広報文1】（約50字）

アンパンマンの作者、やなせたかし(1919-2013)の全貌を紹介する展覧会。やなせによる絵本や漫画の原画、イラストや墨彩詩画を紹介。

【広報文2】（約100字）

アンパンマンの作者として、また「手のひらを太陽に」の作詞者として知られるやなせたかし(1919-2013)。その作品は絵本やアニメに留まらず、漫画や詩画など多岐にわたっていた。その知られざる全貌にせまる展覧会。

【広報文3】（約200字）

アンパンマンの作者として、また、「手のひらを太陽に」の作詞者として知られるやなせたかし(1919-2013)。その作品は絵本やアニメに留まらず、漫画や詩画など多岐にわたっていた。人気キャラクターのアクリル画をはじめ、『やさしいライオン』など絵本の原画、ユーモアあふれる漫画作品、味わい深い詩にイラストを添えた墨彩詩画などにより、やなせの知られざる全貌を紹介。

6 主な出品作品（予定）

出品作品総数 約200点

漫画原画：「メイ犬BON」, 「珍犬ミミ」, 「ボオ氏」など

絵本原画：『やさしいライオン』1969年, 『すぎのきとのぎく』1974年, 『しろいうま』1976年など

アンパンマン関連作品：キャラクターのアクリル画, 絵本原画など

詩 画：「てのひらを太陽に」, 「老後のたのしみ」など

イラスト：『詩とメルヘン』表紙原画など

7 展覧会の見どころ

(1) 「アンパンマン」に留まらない多才な人、やなせたかしの世界展。

初期から晩年までを網羅した約 200 点を展示。

(2) キャッチコピーは、「じいじ、ばあばと、ぼく、わたし」。

やなせたかしの作品は、決して“子ども向け”に留まるものではありません。親子、あるいは3世代、4世代でお楽しみいただける展覧会です。

(3) 漫画作品：出発点であり、やなせの原点となりました。

やなせの出発点は大人向けのナンセンス漫画でしたが、後にセリフの無い「パントマイム」漫画でユーモアとウィットに満ちた独特の作風を開花させます（「ボオ氏」など）。やなせにとっては漫画も詩も「人生を楽しくする為に役立つもの」であり、同次元にあるものでした。

(4) 絵本作品：大人にこそ、深い感動を呼び起こします。

やなせの絵本は、決して単純なハッピーエンドで終わりません。温かな愛情にあふれたこの世界を慈しむ一方で、現実を鋭く見据えて紡ぎ出された物語は、子供から大人まで、すべての人に訴えかける内容となっています。

(5) アンパンマン：やなせの深い思いが託されたヒーロー。

「アンパンマン」のはじまりとしては、やなせ 50 歳の時に発表された大人向けメルヘン（短編小説）が挙げられますが、この作品では冴えない太ったおじさんとして描かれました。作者自身、「非常に格好の悪い正義の味方」を書こうとしたと言うように、“正義”や“ヒーロー”に対するやなせの思いが「アンパンマン」には託されています。その思いは、後に展開する絵本やアニメーションにおいても変わることはありませんでした。

(6) 詩画：高齢化社会にエールを送ります。

根っからのエンターテイナーであったやなせは、つねに前向きであり、自らの人生を楽しみ、周りの人々を楽しませることを第一としました。最も知られている作品は 42 歳の時に作詞した「てのひらを太陽に」ですが、90 才を過ぎてもなお詩集を刊行します。米寿を過ぎても「今が青春」とうたうバイタリティーは、実に驚嘆に値します。

(7) 会期中は、体験コーナーが盛りだくさん。

絵本を読んだり、お絵かきをしたり、親子で方言詩画を共作するなど、自由に楽しめる体験コーナーを設置します。

8 企画展関連イベント

[オープニングセレモニー]

日時：7月11日（土）午前9時15分～

会場：エントランスホール

定員：先着 100 名（参加者は企画展無料ご招待）

申込方法：往復ハガキ（往信用文面に希望者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、返信用宛名面に宛先を明記）または来館による申込み。

内容：茨城県警察音楽隊ファンファーレによる展覧会の開幕。

参加者全員で開幕を盛り上げるイベントを実施。

[オープニング記念イベント]

(1) お絵かきバス

日時：7月11日（土）午前10時～午後4時 ※雨天時は翌日以降に順延

（時間内はどなたでも参加可能）

会場：茨城県立県民文化センター駐車場（当館前）

内容：バスに油性ペンでお絵かき。完成したバスは後日、水戸市内を循環します。

(2) 茨城県警察音楽隊によるミニコンサート

日時：7月11日（土）午前10時30分～11時

会場：エントランスホール

定員：先着 200 名（参加無料、申込不要）

曲目：「手のひらを太陽に」「アンパンマンのマーチ」など

【会期中のイベント】 ※詳細は変更になる場合があります。

(1) 茨城県立図書館児童サービスボランティアによる おはなし会

日時：会期中の土曜日及び日曜日 ※ただし8月15日(土)・16日(日)を除く
各日午前11時及び午後1時30分～

会場：アートフォーラム

定員：先着30名(参加無料, 申込不要)

講師：茨城県立図書館児童サービスボランティア

内容：やなせたかし作品(絵本・紙芝居)の読み聞かせ

(2) ミュージアムシアター

日時：8月15日(土) 午後1時30分～(午後1時開場)

会場：講堂

定員：先着250名(入場無料, 申込不要)

内容：やなせたかしのアニメーション作品を上映

「チリンの鈴」「小さなジャンボ」「バラの花とジョー」(3本立て, 約95分)

(3) 親子ヨガ「みんなで一緒にアンパンマン! 心も体もリフレッシュ!」

講師：荒山裕美氏(yogacafe sora キッズヨガインストラクター)

日時：7月18日(土) 午前10時～/午後1時～(各回約1時間)

会場：講座室

定員：各回20組40名程度 ※未就学児(3～6歳)と保護者(要企画展チケット)

内容：親子でヨガ体験。作品に描かれた人物をまねたポーズなど。体験後、展覧会場で実際の作品を見学

申込方法：往復ハガキ(往信用文面に希望者全員の住所, 氏名, 年齢, 電話番号, 返信用宛名面に宛先を明記)または来館による申込み。1通につき4名まで可

【体験コーナー：会期中随時参加可能】

(1) お絵かきコーナー

オリジナルのキャラクターを描いてみる

(2) 絵本コーナー

やなせたかしの絵本を読む

(3) 方言詩画コーナー

方言を用いて親子で詩画を創作する

(4) 撮影コーナー

記念撮影ができる

9 その他イベント

子どものためのオープンワークショップ“夏”

日時：8月8日(土), 9日(日)

各日とも午前10時～12時, 午後1時30分～3時30分

会場：講座室

対象：幼児から小学生が主な対象。時間内であれば, だれでも参加可能

(就学前の児童は保護者の方と一緒に参加)

内容：身近な材料や道具を使って, 造形遊びや作品づくりをします。

※茨城大学教育学部との連携事業

出品作品図版

- ※1 作品には、題名・制作年・指定クレジットを必ず入れてください。
(作品ごとに指定クレジットが異なりますので、ご注意ください。)
- ※2 アンパンマン関連作品を掲載する場合は、他の作品(絵本原画など)とあわせて必ず2点以上で掲載してください。
- ※3 こちらに掲載された作品は、本展覧会の広報目的の場合にのみ掲載可能です。

[漫画原画]



[イラスト]



(左)「ボオ氏：雲と画家」1967-76年頃
(右)「てのひらを太陽に」
2点ともクレジットは ©やなせたかし

[絵本原画]



(左上)『やさしいライオン』1969年
(右上)『やさしいライオン』1975年
(左)『しろいうま』1976年
3点ともクレジットは ©やなせたかし/フレーベル館

出品作品図版

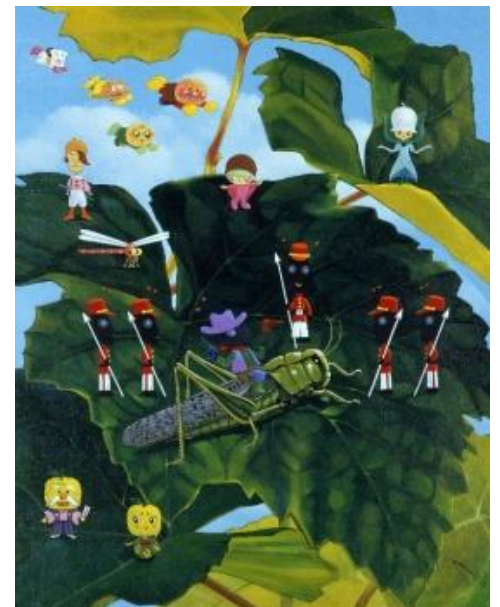
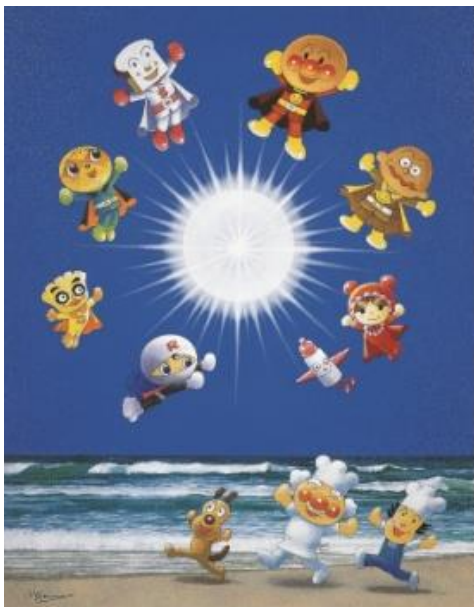
- ※1 作品には、題名・制作年・指定クレジットを必ず入れてください。
(作品ごとに指定クレジットが異なりますので、ご注意ください。)
- ※2 アンパンマン関連作品を掲載する場合は、他の作品(絵本原画など)とあわせて必ず2点以上で掲載してください。
- ※3 こちらに掲載された作品は、本展覧会の広報目的の場合にのみ掲載可能です。

[詩画]



(左)「てのひらを太陽に」2002年 (右)「桃太郎伝説」2009年 2点ともクレジットは ©やなせたかし

[アンパンマン関連作品]



※アンパンマン関連作品以外の作品とあわせて必ず2点以上で掲載をお願いします。

- (左)「てのひらをたいように」2009年
 - (中)「アンパンマン劇場」2013年
 - (右)「こんちゅうたちのいるところ」2011年
- 3点ともクレジットは ©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV